



池上 文夫
いけがみ ふみお
市民連合
(75分)

**新型コロナウイルス感染症
対策は**

問 入院できない感染者のための臨時医療施設などの設置は、

答 医療逼迫を回避するため、できる限り多く宿泊療養施設を確保したいと考えてきた。知事との会談で、限られた医療資源の効果的な活用策を提案し、新たに宿泊



小山 友康
こやま ともやす
市民連合
(75分)

人権尊重のまちづくり条例は

問 本市では、まちづくりの基本理念として人間環境都市を掲げ、その実現のため恒久平和の維持、基本的人権の尊重および市民本位の行政を推進している。条例制定への市長の決意は、

答 これまで人権施策基本方針に基づき、さまざまな人権課題の

療養施設を2カ所確保した。酸素ステーションの設置も要請し、設置に向け検討も始まった。具体的な活用方法は今後、県と協議する。

学習端末を利用したいじめは

問 現状と取り組みは。

答 1学期にいじめに発展した事例の報告があった。また、誹謗中傷につながりかねない事例もあった。東京で小学生が自殺した報道もあり、臨時校長会議を行った。日頃から利用状況を把握し、面談等も通して早期発見に努めていく。

解決と、全ての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権施策の推進に取り組んできた。しかしながら、市民意識調査の結果から、さまざまな差別や偏見が今もなお存在していると受け止めている。

このような状況の中、全ての市民の基本的人権が尊重される社会を実現するためには、市民一人一人が人権問題を正しく理解した上で、自ら行動することが重要と考える。

誰もが真に大切にされる人権尊重のまちづくりを推進していく。



高木 武志
たかぎ たけし
日本共産党
(120分)

学校統廃合は

問 山野小・中学校の統廃合が1年延期されたが、小規模特認校として残してほしいという地域や保護者の要望がある。計画は見直すべきでは。

答 山野地域の再編後の教育機能は、今後設置する地域の持続、活性化に向けた協議の場で議論する。



宮地 毅
みやち つよし
新政クラブ
(70分)

子どもの読解力低下は

問 全国学力・学習状況調査の結果、小学生の国語では説明文を読んで要約する記述問題、中学生の数学ではデータの傾向を読み解き統計的に説明する記述問題の正解率が最も低く、読解力の低下を感じた。この結果をどう捉え、今後に生かすのか。

問 8月に補正給付における食費の負担額が改善され、本人の年金収入が120万円超の施設入所者の場合、年26万4千円の負担増となる。影響を調査し負担増分は本市独自に軽減すべきでは。

答 今回の制度改正は、収入等で負担能力がある方に相応の負担をいただくことで、利用者間の公平性を高めるものと考えている。本市独自の軽減策は考えていない。

答 正解率50%未満の設問の約6割が記述式の問題であり、その特徴である文章や問題を正確に理解し、解釈したことや考えたことの理由を説明するなどの力を身に付けるには、読書活動の役割が大きいと考える。

本市では、自ら本を開き読もうとする場として学校図書館整備を計画的に進めている。現在作成中の第3次子ども読書活動推進計画では、本を読み、親しむだけでなく、分かったことや考えたことを「話す、書く」といったアウトプットの活動をより充実させていく。